

図 4-6-16 湿地実態調査結果 (D湿地)



D 湿地状況（夏季）



D 湿地状況（晩秋季）



D 湿地下流の河川水（夏季）



D 湿地下流の河川水（晩秋季）

写真 4-6-3 D 湿地の状況

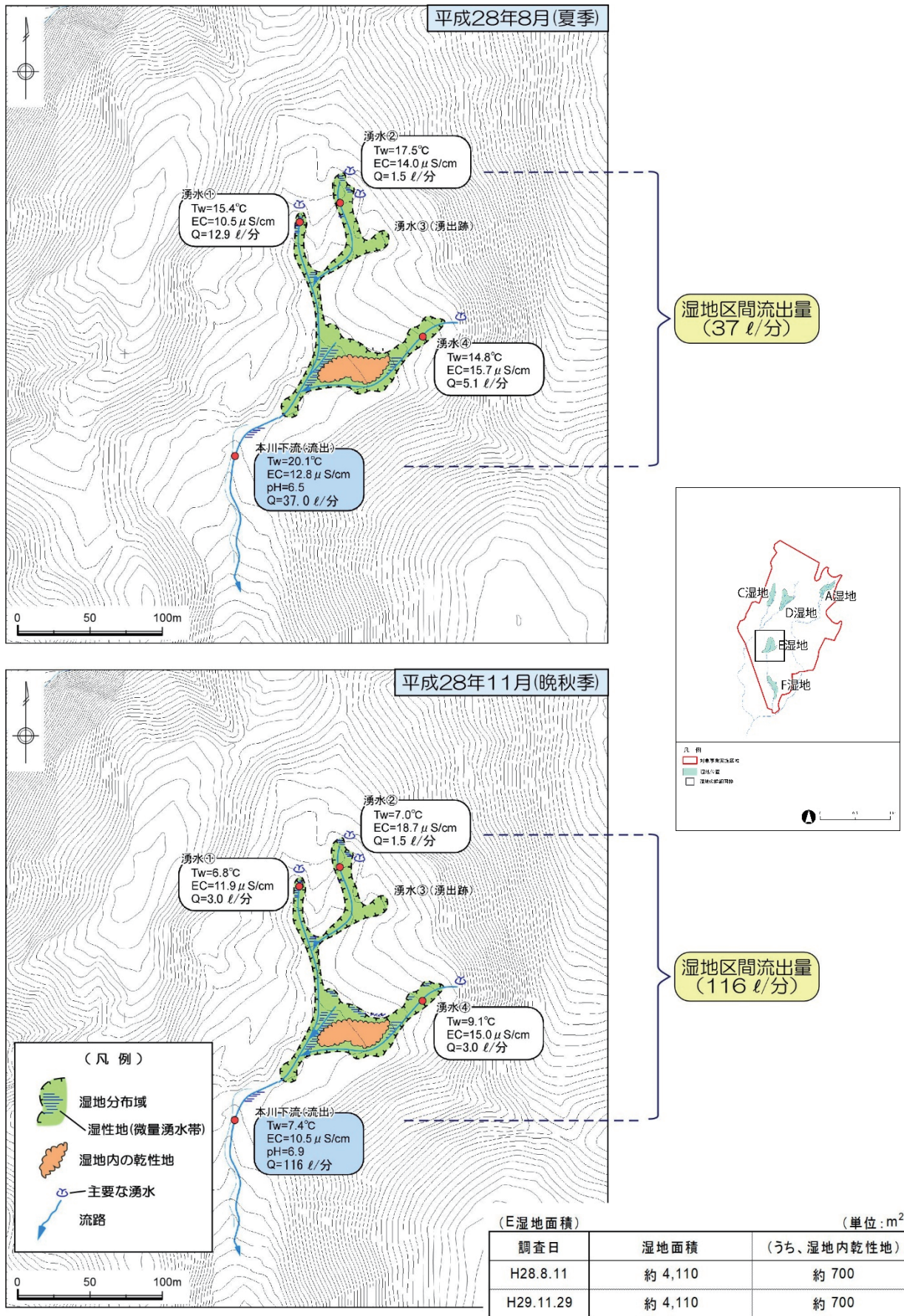


図 4-6-17 湿地実態調査結果 (E湿地)



E 湿地状況（夏季）



E 湿地状況（晩秋季）



E 湿地下流の河川水（夏季）



E 湿地下流の河川水（晩秋季）

写真 4-6-4 E 湿地の状況

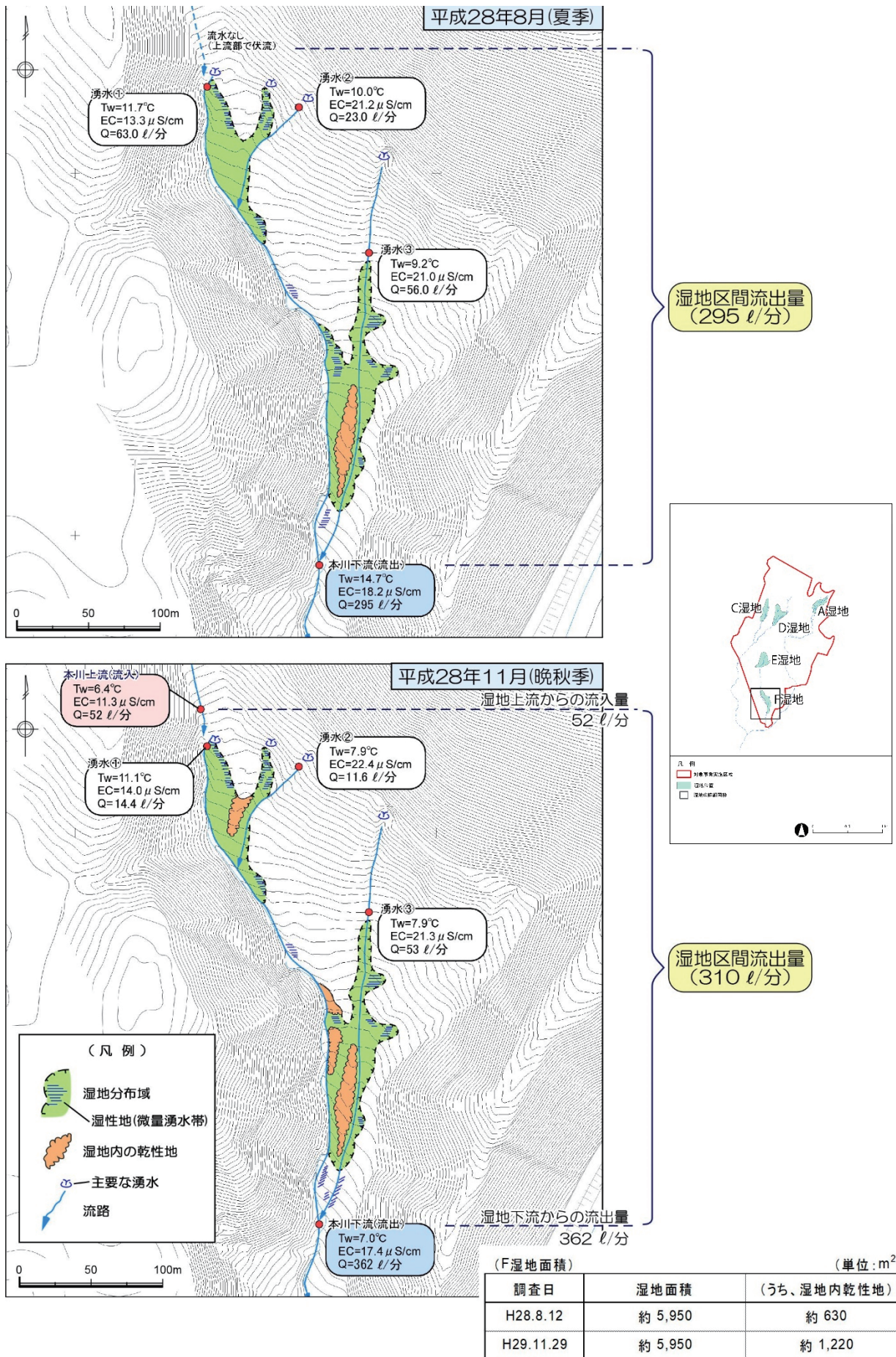


図 4-6-18 湿地実態調査結果 (F湿地)



F 湿地状況（夏季）



F 湿地状況（晩秋季）



F 湿地下流の河川水（夏季）



F 湿地下流の河川水（晩秋季）

写真 4-6-5 F 湿地の状況

(2) 湿地における水位・水温状況

各湿地の水位変化を図 4-6-19 に、水温変化を図 4-6-20 に示す。

各湿地の水位は、雨が降れば水位上昇が認められ、降雨が無い時期が続けば水位低下する傾向となっている。ただし、A 湿地、F 湿地の水位は、降雨時上昇するが比較的基底水位が安定している傾向がある。一方、C、D、E 湿地の水位は、降雨が無い時期が続けば急激に低下する傾向があり、基底水位も安定していない。

水温変化は、夏場で A、F 湿地が低温で、C、D、E 湿地が高温を示している。秋から冬にかけての水温は、F 湿地を除きほぼ同様な気温低下と連動し、水温低下傾向を示している。ただし、F 湿地だけが他の湿地に比べ高温傾向を示す特徴が認められる。

上記した水位変化及び水温変化の傾向から湿地湧水を考察すれば、A、F 湿地湧水は、上流から比較的深部を流動する地下水流出と考えられる。また C、D、E 湿地は、比較的周辺の浅い地下水が流出していることが考えられる。

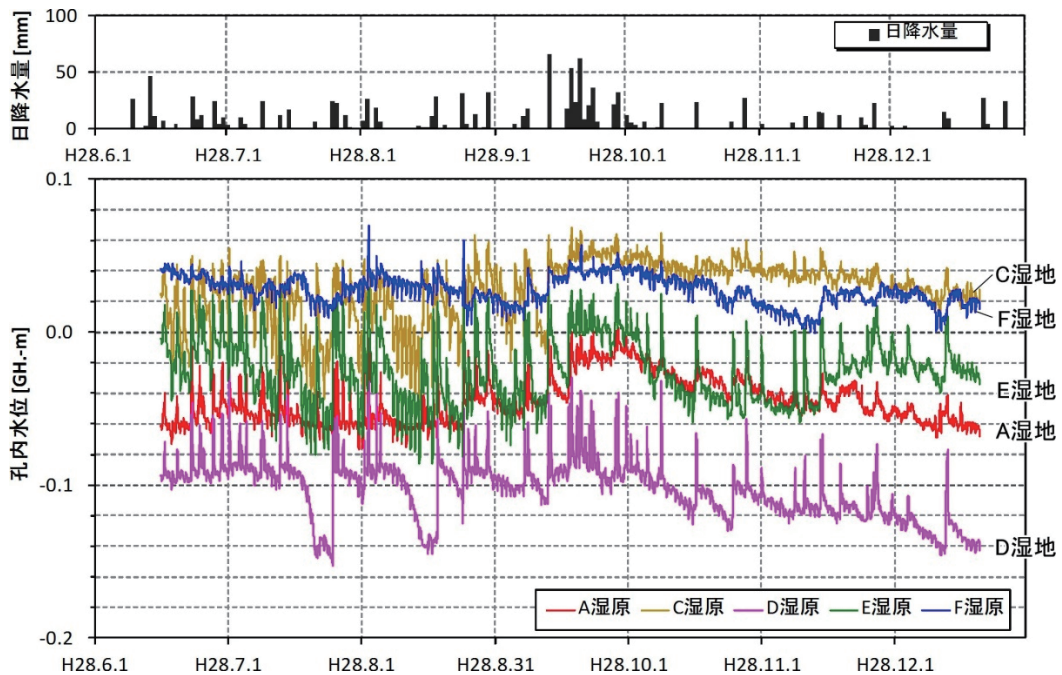


図 4-6-19 湿地内観測井の水位変化

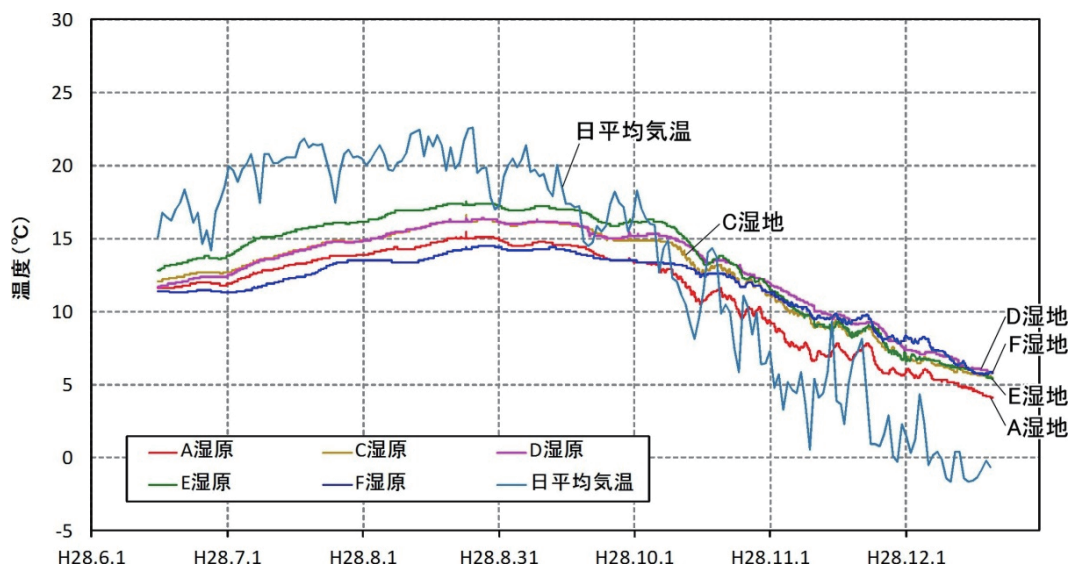


図 4-6-20 湿地内観測井の水温変化